

平成30年度 事務事業評価シート

(単位:千円)

事業属性	事業名(コード)	治水対策プロモーション事業			550310	担当課	用地課	
	開始年度	平成29(2017)	終了予定年度	平成29(2017)	作成責任者	西畑 信寿		
	歳出費目	款) 土木費	項) 土木管理費	目) 土木総務費	決算附属資料	192	頁	
	施策の大綱	土地利用および市街地・集落整備			関連計画等	-		
	施策名	良好な都市空間を形成する			根拠法令等	-		
	事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> その他 ( )						
基礎情報	事業目的 (あるべき姿)	平成25年、26年と2年連続で甚大な被害に見舞われ、国土交通省による由良川改修事業や、全国初の取り組みとなる国・府・市の3者による「由良川流域(福知山市域)における総合的な治水対策」の推進によって、水害に対する安全度が向上し、「水害のまち」から水害に強い安全・安心の町に復興・再生しつつある姿を治水対策シンポジウム・現地見学会を通して、市内外に向けて発信する。 その結果、観光振興や定住促進が進み、市民の利便性や満足度の向上に寄与する。						
	対象者	全市民	対象者数	78,000	一人当たりコスト	0.04		
	実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他 <委託先・実施主体等> 株式会社 井之上パブリックリレーションズ						
	事業概要	○現地見学会やシンポジウムにニュースソースが高まるような高名な講師を招聘する。 ○市内外への効果的なPRが期待できるメディアを招致する。 ○現地見学会やシンポジウムがメディアに取り扱われやすくするためのアドバイスを受ける。						
	主な経費と 具体的内容 (H29実績)	項目		具体的な内容			H29経費	
		委託料		講師招聘・メディア招致・アドバイス等			497	
関連事業								
予算と執行の状況	区分			H28	H29	H30	H31要求	
	事業費	当初予算・・・①		0	1,000	0		
		補正予算等・・・②		0	0	0		
		繰越し等・・・③		0	0	0		
	財源内訳	一般財源		0	1,000	0		
		国支出金		0	0	0		
		府支出金		0	0	0		
		地方債		0	0	0		
		その他特財		0	0	0		
		特定財源名称 (H29実績)					頁	
							頁	
職員人件費	従事職員数(正職/嘱託)		0/0	0.3/0	0./0	/		
	概算人件費・・・④		0	2,400	0			
総事業費(①+②+③+④)・・・⑤			0	3,400	0			
執行状況	執行額・・・⑥		0	497				
	執行率(⑥/(①+②+③)×100)		-	49.7%				
業績指標	成果実績 (アウトカム) 実績/当初目標	指標	単位	H28	H29	H30	最終目標	
		シンポジウムへの来場者数	人	-	0/200	/		
					0/0	/		
	活動実績 (アウトプット) 実績/当初見込	指標	単位	H28	H29	H30	最終目標	
		現地見学会、シンポジウムの回数	回	-	0/1	/	全事業	
		単位あたりコスト		-	0.0			
				/				
	単位あたりコスト							

		項目	評価	評価に対する説明
一次評価 ▽担当課による自己評価△	必要性	市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か	○	5年間で3度の甚大な浸水被害があり、「災害のまち」という負のイメージからの脱却をどのようにPRできるかは多くに市民から注目されている。
		民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か	○	
		目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	○	
	効率性	受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か	○	効果的なPR方法等の業務については業務委託をするも、イベントや企画については職員で検討するなどコスト削減に努めた。
		他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか	○	
		コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	○	
	有効性	成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか	○	台風21号災害による浸水被害を受けて中止を決断することとなったが、メディアに特化したイベントの企画等、今後の参考になった。
		活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか	○	
		先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	○	
		目的及び指標等の達成状況に対する評価	治水効果の向上による安全・安心なまちを市内外にPRすることが目的であったため、台風21号災害により浸水被害が発生する中でPRが逆効果になることを懸念し中止とした。	
	今後の課題及び方向性	福知山市として、PR活動を行うため、各課と調整を行いながら実施の検討を行う。		
庁内及び外部による評価	二次評価 (庁内) 【行革担当課記入】	所見		
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・中止の判断はやむなし</li> <li>・委託費の精算も適切な調整の結果と判断する</li> </ul>		
	三次評価 (外部) 【行革担当課記入】	所見		
来年度方針	担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	内容	
		<input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業と統合し組替 <input type="checkbox"/> 予算縮減を伴う見直し <input type="checkbox"/> 予算増減のない見直し <input type="checkbox"/> 予算拡充を伴う見直し <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし		
	予算への反映 【財政担当課記入】	予算額の反映状況(対H30)	担当課の見直し・要求方針に対する所見【行革担当課記入】	
		<input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 組替 <input type="checkbox"/> 縮減 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 拡充		